

網膜に直接映像を照射して、新たな“AR体験”が可能に！
**QDレーザのRETISSA[®] Display IIを
シードが2020年3月16日～取扱い開始**

株式会社 QD レーザ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：菅原 充、以下「QD レーザ」）と株式会社シード（本社：東京都文京区、代表取締役社長：浦壁 昌広、東証 1 部：7743、以下「シード」）は、シードが QD レーザの販売代理店となることに合意し、3 月 16 日（月）より QD レーザが製造する網膜走査型ディスプレイ「RETISSA[®] Display II」の取扱いを開始することとなりましたのでお知らせします。



■ 映像を網膜に直接投射する、RETISSA[®] Display II

RETISSA[®] Display II は、超小型プロジェクタによって網膜に直接映像を照射することで、目で“見る”のではなく、見たいものが目に“映る”ヘッドマウントディスプレイです。

従来の透過型スマートグラス※は、仮想スクリーンに投影された映像を視認するため、視力やピントに依存します。また、実視界と映像の間にピントずれが生じやすく、眼の疲れの原因となるピント調節が頻繁に起こる等の問題点がありました。

この課題を解決するため、当製品には QD レーザ社による新技術“VISIRIUM（ビジリウム）テクノロジー”が搭載されています。この技術は、映像を網膜に直接投射することにより、映像と背景の両方を同時に見ることができます。そのため、実視界とピントの齟齬がなく、ピント移動の必要がありません。新しい“AR 体験”によって日常生活の利便性を向上させ、新しい楽しみを生み出すことが可能となりました。

※ 網膜に直接投影する当製品とは映像の投影方法が異なり、目の前に配置したディスプレイに投影した映像を、視力を使って見るもの。

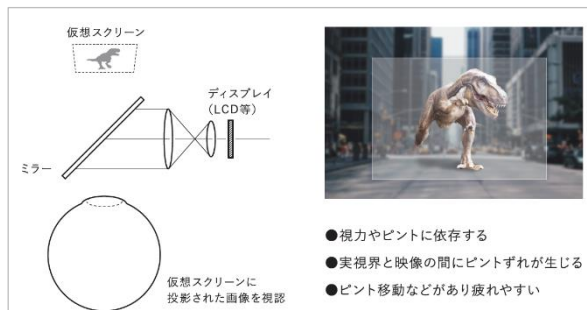
＜画像素材ダウンロード先＞

<https://kfs.kddi.ne.jp/public/12IMAAOin4PASDcBKNJwWrWjnUIYcG9JeWsHjNHIYXI>

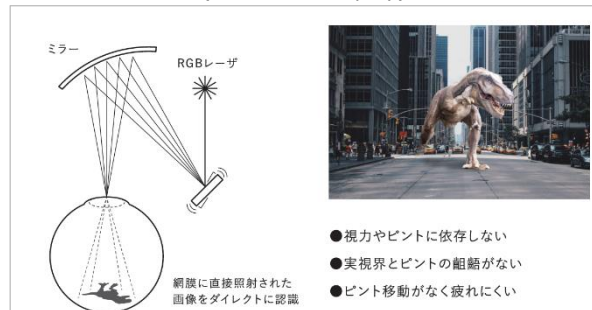
■ VISIRIUM テクノロジー

VISIRIUM テクノロジーによる網膜投影は、原理的に近視・遠視・乱視・老眼などがあっても矯正をすることなく画像を見ることができます。この特長は「見える」をサポートする企業としてのシードの理念に叶うものであり、眼科領域との融合、連携も期待できます。

従来型の透過型スマートグラス



VISIRIUM (ビジリウム) テクノロジー
(RETISSA® Display)



■ 新たな AR 体験が可能に

“AR 体験”とは、Augmented reality（拡張現実）体験のことです。VR の様な全く異なる仮想現実には飛び込む（没入する）ものと異なり、現実に対してデジタル情報を付加します。例えば、視野にマニュアルを表示する“作業支援”、キャラクター等を現実世界に描く“エンタメ”といったさまざまなシーンで、新しいビジョンをお見せします。



ライブ・エンタメ



スポーツ観戦



GPSナビゲーション



視覚サポート

■ QD レーザとシードの取組み

網膜走査型レーザーディスプレイ技術で世界をリードする QD レーザと、眼科領域の知見や全国に広くもつ販売ネットワークに強みを持つシードの協業により、当製品を末永くご使用いただける販売・サービス網の構築を目指していきます。QD レーザは、当製品の製造と供給および品質保証を担当します。また、シードは対象製品の眼科領域を中心とした販売拡大に努めるとともに、販売施設からの販売情報等の収集、保守に関する一次対応の役割を担います。

【製品概要】

➤ 特長

- ①視力やピント位置に依存せず、常に映像がクリアです。
- ②近視・遠視・老眼など、視力に課題があっても、矯正を必要としません。
- ③PC・タブレット・スマートフォンを HDMI 接続し映像を投影することができます。



RETISSA® Display II の製品一式

➤ 仕様

製品名	RETISSA [®] Display II
価格	オープン価格
投影方式	網膜走査型
光源	RGB レーザ
外形寸法	アイウェア：TBD コントロールボックス：約 84×29×150 mm
重さ	アイウェア：約 40 g（プロジェクタ部のみ） コントロールボックス：約 80×29×150mm
映像入力	HDMI
電源出力	USB Type -A DC+5V(接続機器用)
音声出力	Φ3.5 mm ミニジャック
視野角	約 26 度（水平）
解像度	720P 相当
更新レート	60Hz
駆動時間	180 分程度（バッテリー駆動）

※見え方には個人差があります。 ※製品改良のため、予告なく仕様等の変更が行われる場合があります。

※当製品は医療機器ではなく、視覚障害の方による利用を意図するものではありません。

医療機器モデルである「RETISSA メディカル」は、QD レーザが 1 月 28 日（火）付で製造販売承認を取得いたしました。今後 QD レーザとシードは協力して RETISSA[®] シリーズのラインナップを充実させ、販売展開拡大を検討していきます。

【会社概要】

会社名： 株式会社 QD レーザ
 代表： 代表取締役社長 菅原 充
 本社： 神奈川県川崎市川崎区南渡田町 1-1
 ホームページ： <https://www.qdlaser.com/>
 設立： 2006 年 4 月 24 日（富士通スピンオフベンチャー）
 事業内容： ●半導体レーザ及び応用製品の企画・設計開発・製造・販売

会社名： 株式会社シード（SEED Co., Ltd.）
 代表： 代表取締役社長 浦壁 昌広
 本社： 〒113-8402 東京都文京区本郷 2-40-2
 電話 03-3813-1111（大代表）
 ホームページ： <https://www.seed.co.jp>
 設立： 1957 年 10 月 9 日
 資本金： 18 億 4,128 万円（東京証券取引所市場第一部：証券コード 7743）
 事業内容： ●コンタクトレンズ事業 ●コンタクトレンズケア事業 ●眼鏡事業

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞	
株式会社 QD レーザ 経営企画室 広報 宮内・影山 TEL：044-333-3338 メール：retissa@qdlaser.com	株式会社シード 広報事務局 新保（しんぼ） TEL：03-5411-0066 携帯：080-9874-4858 メール：pr@netamoto.co.jp